［広報］ 鮫川村広報紙

さめがわ

9
2008 No. 653
平成20年９月１日発行



■ほっとニュース

大豆・じゅうねん・あずき栽培者研修会
大妻女子大学西成ゼミが村内で合宿 ほか

［表紙写真］
こどもセンター夏祭り花火大会
／７月30日

まめで達者な村づくりを発展させるために

ふるさと納税制度とは

平成二十年度地方税法の改正により新たに創設された制度で、応援したい、貢献したいと思う地方自治体へ**寄附**をした場合に、その相当額が所得税やお住まいになっている自治体の住民税から控除される制度のことです。

今回の地方税制の改正では、所得税における所得控除の制度は変わりませんが、住民税での控除が所得控除から税額控除に変更されました。また、従来の住民税における適用下限額がこれまでの十万円から五千円に変更され、寄附金額から適用下限額の五千円を差し引いた分が、個人住民税における税額控除の対象金額となっています。（上限は、個人住民税〔所得割〕の概ね一割です。）

鮫川村の取り組みをご支援ください

鮫川村では、里山の環境を癒しやふれあいの場として維持し、また地域資源として活用しながら、

[表１]

鮫川村がふるさとづくり寄附条例により行う事業

1　自然環境の維持、保全および整備に関する事業

2　特産品の育成および地域産業の振興に関する事業

3　高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業

4　教育、歴史文化の保存に関する事業

5　子育て支援などに関する事業

6　その他村長が必要と認める事業

村内外の皆さまとともに村づくりを進めています。

これらの取り組みをさらに発展させ、今後も鮫川村が元気になっていくために、村の取り組みに共感を寄せていただける皆さまからの温かいご支援をお願いいたします。

寄附金の使い道

皆さまからいただいた寄附金は、「鮫川村ふるさとづくり寄附条例」に基づき、六つの事業に活用されます。**［右ページ表1参照］**

寄附をお寄せいただく方法

・寄附申込書を提出してください。

寄附申込書を村ホームページよりダウンロードしていただくか、電話やファックスなどにより、役場総務課財政係までご連絡をいただければ寄附申込書を郵送させていただきます。

・寄附金の納入をお願いします。

寄附金の納入には、銀行、郵便局からの振込みや現金での納付があります。

・領収証書を発行します。

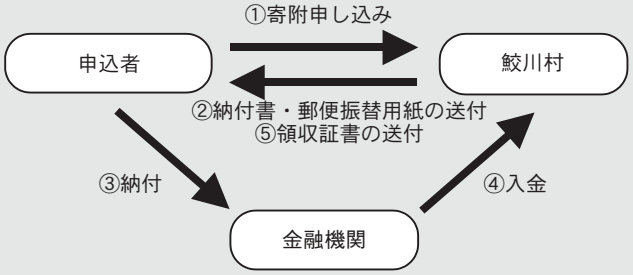
寄附金の納入を確認しました後、寄附された方へ領収証書を発行します。この領収証書によって、税の控除を受けることができますので、確定申告時まで大切に保管してください。



■問い合わせ　村総務課財政係
☎0247-49-3111

●鮫川村ふるさと寄附金手続きの流れ

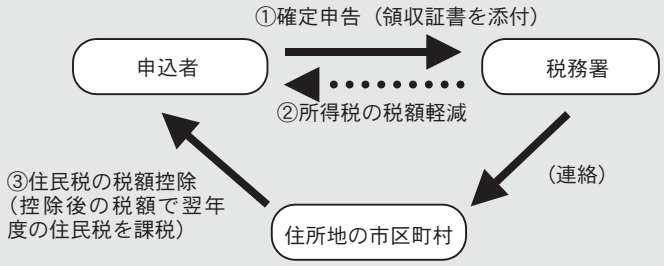
銀行や郵便局で納付する場合



現金で納付する場合



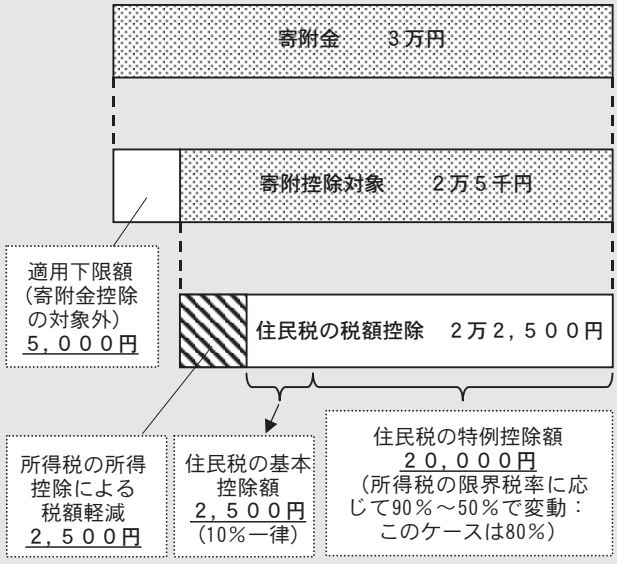
●ふるさと納税で住民税などの軽減を受けるためには



●寄附金控除の計算例

［給与収入600万円で夫婦子２人のケース］

所得税の限界税率　１０％
住民税所得割額　２００，０００円



［注①］
特例控除の上限額（住民税所得割額の１割）を超えても基本控除は適用されますが、地方公共団体以外に対する寄附金とあわせて、住民税の寄附金控除の対象となる寄附金の限度額（控除対象限度額）は総所得金額などの30％となります。

［注②］
このモデルケースは、所得税の限界税率を10％、住民税の所得割額を200,000円とした場合です。

100年後も輝き続ける村づくりを目指して

将来の鮫川村、そして次世代を担う子どもたちへのプレゼント

地域資源を生かした「ゆうきの里づくり」研修会が八月五日、村公民館で行われ、村が策定を進めてきた「鮫川村バイオマスヴィレッジ構想」が発表されました。

村の基幹産業である農業を核として、村にある豊富な有機性資源を利活用し、環境を保全しながら使い捨て社会から循環型社会への移行を促進し、源流の里・有機の里づくりを目指します。構想は、今月下旬に「鮫川村バイオマスヴィレッジ構想」として、農林水産省より全国へ向けて公表されます。

鮫川村バイオマスヴィレッジ構想の理念

次世代の子どもたちに美しく魅力ある村として遺してあげるため、村の基幹産業である農業の六次産業化や地域の活性化を図り、地域に眠っている資源を有効に活用して、循環型社会を形成すること、そしてかけがえのない地球環境を守りながら村の発展に寄与することを目的として策定しています。

バイオマスとは

バイオマスとは、家畜排泄物や生ごみ、木くずなど動植物から生まれた再生可能な有機性資源のことをいいます。

身近なバイオマスの例

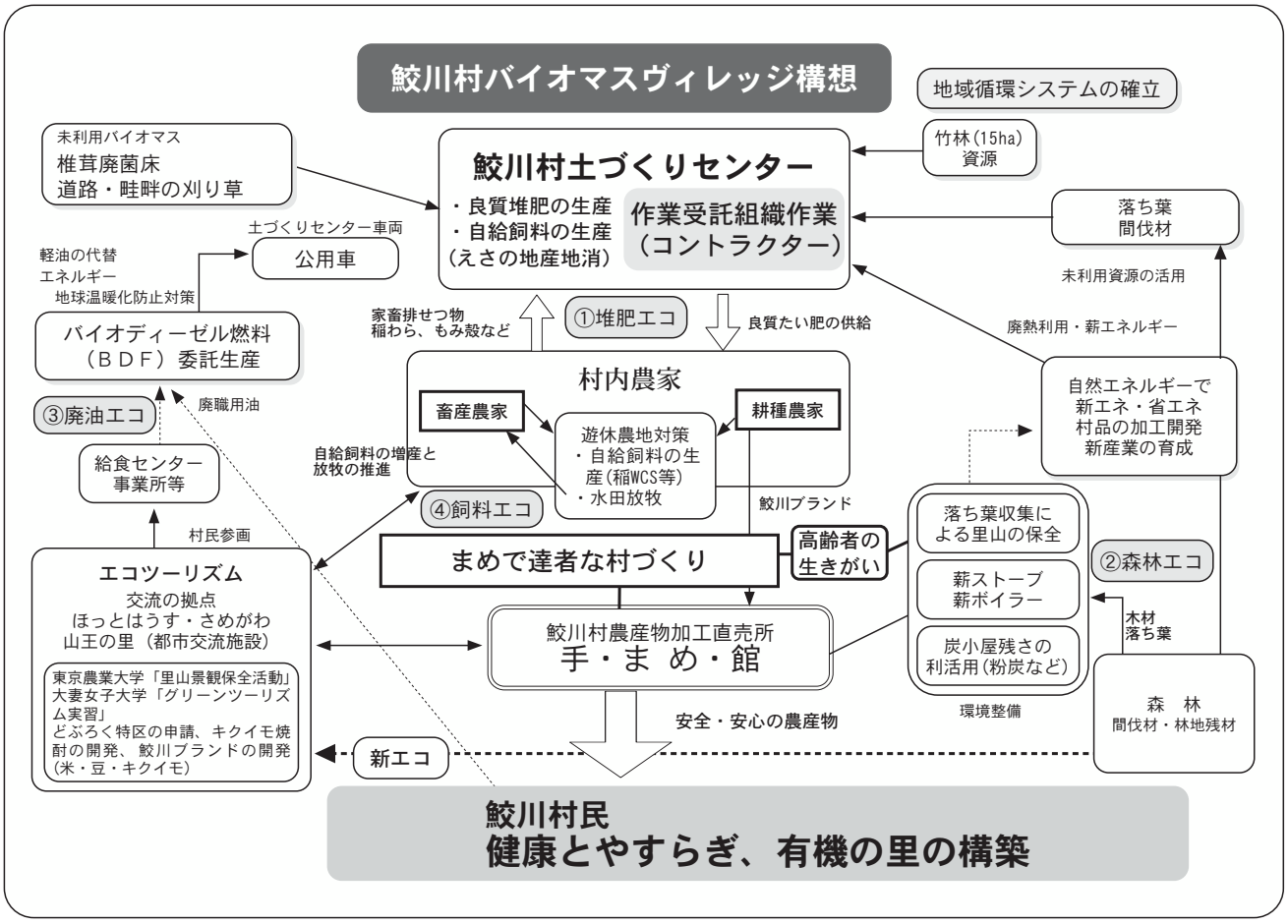
▼畜舎や牧場から出るバイオマス…家畜のふんや尿など
▼山や田んぼで使われていないバイオマス…山に残ったままの木、刈草、稲わら、もみがらなど
▼畑からとれるバイオマス…牧草、キクイモ、とうもろこしなど
▼家庭から出るバイオマス…生ごみ、下水のどろなど

鮫川村のバイオマス利活用方法（四本の柱）

①豊富な畜産堆肥を活かした土づくり…有機の里づくりの核となる「鮫川村豊かな土づくりセンター」の整備、未利用資源の有効活用
②間伐材・林地残材などの木質バイオマスの活用…薪供給市場（薪ステーション）の設置、薪ボイラー・薪ストーブの普及
③廃食油の有効利用と燃料作物の栽培…村の廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料として利用
④資源作物によるアルコールの開発…キクイモなど資源作物の栽培、焼酎の開発、消毒エタノールの精製



鮫川村バイオマスヴィレッジ構想



構想で期待される効果

人と自然にやさしい農業を実践し、健康・やすらぎ・有機の里の構築を目指すことで、村民一人ひとりの命を守りながら、村民が生きがいをもって安心して生活することができます。

①自然環境の保全…地球温暖化防止、農業・畜産公害の防止、山林の保全と美化

②経済効果…農林業・商工業の振興、新たな産業の創出、若者の雇用創出、交流人口の拡大

③食育・健康・ゆとり…食育の推進、村民の健康増進、高齢者の生きがい増進、余暇を楽しむ

終わりに

これから生きていく子どもたちのために、みんなが笑顔で暮らせる村、そして百年後も輝き続ける村づくりを目指して、村民一人ひとりが環境を守り、地域の絆を次世代に引き継ぐことが大切です。

ゆうきの里づくりブランドに12人16作物を認証

「ゆうきの里づくりブランド(特別栽培農産物)」認証式が研修会の席上で行われ、大樂村長から一人ひとりに認証書が手渡され、12人16作物が認証されました。

認証者は次のとおりです。

▼菊地　常夫[トマト]
▼鈴木　芳保[ミニトマト]
▼宗田　トミ[たまねぎ・ばれいしょ]
▼緑川千代子[きゃべつ]
▼矢吹テル子[トマト]
▼圓谷　由郎[トマト・きゃべつ]
▼我妻　一男[きゅうり・なす]
▼本郷　公市[ばれいしょ]
▼小松　恵一[トマト・ミニトマト]
▼大竹　なみ[トマト]
▼圓谷　冷子[なす]
▼鈴木リキ斗[ばれいしょ]


研修会で行われた認証式

1 NEWS

栽培方法や健康づくりを学ぶ
大豆・じゅうねん・あずき栽培者研修会

大豆・じゅうねん・あずき栽培者研修会は七月三十日、村公民館などで行われました。

研修会には、今年度大豆、じゅうねん、あずきを栽培しているお年寄りなど約百人が参加。東白川農商高校鮫川校入口の大豆栽培ほ場で現地研修を行った後、村公民館に会場を移して研修を行いました。

公民館では、大樂村長の講話の後、福島県県南農林事務所農業普及部の井出主査による大豆栽培技術指導と、鮫川村特産品開発事業組合の関根政雄会長によるじゅうねんの栽培技術指導が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、「健康サポーター・ビーンズヘルスの会」の青戸良一会長による健康体操や紅晴美さんによる「長寿を祝う演歌まつり」が行われ、楽しいひとときを過ごしました。


紅晴美さんによるお楽しみ演芸会


現地研修会

2 NEWS

里山の自然を満喫
大妻女子大学の西成ゼミが村内で合宿

村との交流を行っている大妻女子大学（東京都千代田区）の西成ゼミ合宿は、八月六日から八日までの三日間、菅生の郷自然学校で行われました。

今回の合宿には、大妻女子大学家政学部ライフデザイン学科の学生など九人が参加。初日、二日目と菅生の郷自然学校（鍬木田）で行われ、自然にはないものを探すネイチャーゲームをしたり、森林の役割や農村の現状などについて学習会を行いました。また、収穫した野菜を使った昼食づくりや石窯ピザ焼き体験、二日目の夜には、肝だめしなどを楽しみました。

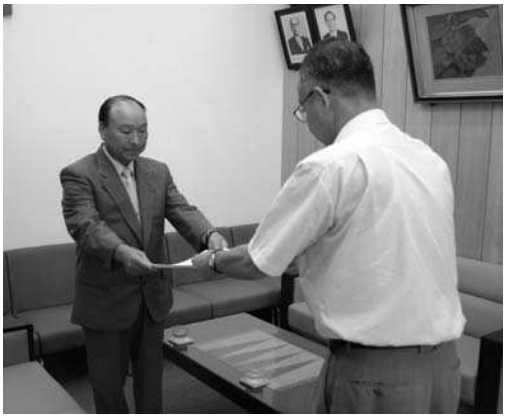
三日目は、火打石や荻ノ沢、仁田地内をゆっくりと散歩するなど、学生たちは里山の自然を満喫していました。




上…里山での学習／下…ピザ焼き体験をする学生

3 NEWS

県税の納税意識に高い評価
赤坂東野石井草区納税貯蓄組合に振興局長感謝状


関県南地方振興局長から感謝状を受ける高杉組合長

県南地方振興局長感謝状、知事感謝状の伝達式は七月二十八日、役場村長室で行われました。

県税の納税に功労のあった個人・団体をたたえる県南地方振興局長表彰で、赤坂東野石井草区納税貯蓄組合（高杉晃組合長）が優良納税団体に選ばれ、県南地方振興局長から感謝状が送られました。

また、個人県民税を四十六年連続で達成した本村には知事感謝状が送られました。

4 NEWS

3年目もよろしく！
アマンダ・ジョーンズ先生に辞令交付


辞令を受けるアマンダ先生

平成十七年七月末から語学指導助手として活躍しているアマンダ・ジョーンズ先生は七月三十一日、奥貫洋教育長から新たに一年間の辞令が交付されました。

語学指導助手としては最長期間となる三年目を鮫川村で過ごすことにしたアマンダ先生は、日本語の日常会話を不自由なく使い、夏休み中も子どもたちに英語の歌やゲームで楽しい英会話教室を行いました。

5 NEWS

釣りを楽しむ
青生野地区でヤマメ釣り大会


多くの人で賑わったヤマメ釣り大会

朝日山に遊歩道を作る会（堀川信四郎会長）主催のヤマメ釣り大会は八月十日、朝日山登山道西口付近で行われました。

大会には、地区住民や村内の釣り人が参加。河川約四百メートルの区間に十五センチから二十センチほどのヤマメ約百五十キロを放流し、参加者は自由に釣りを楽しみました。

また、焼きそばやジュースなどの出店も並び、多くの人で賑わいました。

6 NEWS

鮫川スポ少学童野球部が準優勝
第3回白河信用金庫理事長旗争奪学童野球大会


準優勝を果たした学童野球部部員

第三回白河信用金庫理事長旗争奪学童軟式野球大会が白河市のしらさかの森スポーツ公園グリーンスタジアムで行われ、鮫川スポーツ少年団学童野球部が出場しました。

大会は、一戦目、二戦目と勝利し、決勝で黒磯クラブ（栃木県那須塩原市）と対戦。九対三と敗れましたが、見事、準優勝を果たしました。また、大会の優秀選手に生田目佳哉くん（鮫小六年）が選ばれました。

みんなのページ

根本 みどりさん
Midori NEMOTO

ねもと・みどり　●昭和48年４月生まれ。西山字岩野草在住。医療法人緑桜会東のこみち勤務。趣味は、園芸。抱負は、明るく笑いの絶えない家庭を築くこと。人の悪口を言わない。



みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
ＴＥＬ　0247-49-3115
ＦＡＸ　0247-49-3363
Eメールアドレス
kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp
企画調整課企画振興係
「広報さめがわ担当」まで

村民［随想］リレー ㉒

みんなに支えられて

私は、鮫川に来て八年になります。故義父の身体が弱くなってから徐々に野菜づくりをするようになり、今は、休みになると家族で農作業をしています。

これが結構、面白く夫婦の冷めた会話も「次は何植える」「この野菜は失敗だった」などと会話も増え、夫婦円満の秘訣でもあります。見よう見まねの家族菜園も本業の方には見ていられないのか「肥やしが足りない」「消毒しなきゃ駄目だ」とアドバイスを頂いています。（笑）

今年の二月に義父が他界しました。突然の死に驚きましたが何よりも地域の方には、私たち未熟なものに対して、あれこれと指導し暖かく迎え入れて頂いたことに、鮫川に来て良かったと思いました。いろいろと付き合いの多い鮫川ですが暖かさも人一倍です。

これからは仕事と子育て、地域の付き合いと忙しくなりますが、子どもたちが安心して暮らせる地域、お年寄りに優しい地域を目指し頑張って行きたいと思います。そして、故義父の冥福と今まで影で支えてくれた夫に、心から感謝しています。 ■

次は、石井朝子さん（赤坂西野字酒垂）にバトンタッチ！

［郵送］９月９日(火) ※消印有効、［インターネット］９月３日(水) 午後５時／第１次試験日…11月１日(土)・２日(日)／第１次試験場所…塩釜市ほか／詳細・問い合わせ…福島海上保安部管理課総務係（〒971-8101いわき市小名浜字辰巳町38番地）☎0246-53-7112

●福島県発明展作品募集　日常生活や産業技術から生まれた、創造性に富む優れた発明・考案・意匠の作品を一堂に展示して広く県民に紹介することにより、創意工夫の高揚をはかり福島県の産業・技術の発展と、次代を担う児童・生徒の創造性の育成を目的として、「第54回福島県発明展」が10月17日～20日に開催されます。この発明展の展示作品を募集します。／募集区分…［一般の部］県内在住者の個人および県内に所在地のある会社・工場など［児童・生徒の部］県内の小学校、中学校、高等学校などに在籍している児童・生徒／募集作品…出品作品は一人２点、作品の大きさは原則として、縦、横、高さとも１メートル以内、重量20kg以内／募集期間…９月１日(月)～９月22日(月)／申し込み方法…所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、社団法人発明協会福島県支部まで提出してください。／その他…申し込みにかかる留意点など詳しくは、社団法人発明協会福島県支部までお問い合わせください。／申し込み・問い合わせ…社団法人発明協会福島県支部（〒963-0215郡山市待池台１-12〔福島県ハイテクプラザ内〕）☎024-959-3351

鮫川村では、現在空き家の情報を探しています。近年、村に住みたいという情報の問い合わせが多くなっています。ご自宅、ご近所などで空き家を貸しても良いという方がいましたら役場企画調整課まで。

広報 文芸

長月（ながつき）



俳句

湯の宿のふくろうの声夏の果　中井　恒峯
私まで形見いただく綴織　矢部　正子
とりたての淡きセロリー丸かじり　斎須　信子
花木槿子等後先に墓参り　山本　恵子
夏らしき入道雲を置き忘れ　北條　素人坂
子雀の水遊びするしぶきかな　前田　縫子
孫よりのネールカラーは夏の色　黒田　寿香
炎天や語り合われる組閣の無駄　松本　精一
群れて舞う幾夜ほたるの夏が逝く　鈴木　米子
ねむ咲いて会話愛あり笑いあり　小松　ハル工
崩れ来る氷原を行く親子熊　山本　五十鈴

短歌

いつも逢う笑顔の友にほだされて冗談を言うも至福の境地　坂本　雪絵
米を研ぐ嫁と厨をかい間見てなぜか安らぐ病めるこの身も　前田　初
叱るも又愛の鞭よと己にも聞かせて孫と時を過ごしぬ　鈴木　イミ子
沖縄の公園に建つ戦没者碑に彫られあり木村知事の文字　佐藤　春枝
野の道を一人歩めば風冴えて薫るみどりに元気を貰う　須藤　幸子
長生も健康でなければ意味ないと友は洩らして店出づるなり　水野　珠子
重労の田草取るのも鴨任せのんびりとして農の今あり　溝井　清乃
荒草と共に伸びたるもじずりの捻じれ清しきうす紅の花　芳賀　常夫
亡き夫の七七忌済まし緑濃き山路をゆけばほととぎすの声　遠藤　秀
曾孫の守り頼まれてする今日も又無心の笑みに心遊ばせて　関根　瑞恵
折り紙に小さき鶴を喜寿という誕生を祝う一人のわれは　本郷　嘉信
山並みを抜きて聳ゆる磐梯の穂先は抱く赤き光りを　齋藤　平四
三泊四日の老クの旅は花見屋へ今年も行きて歌や踊りに　鈴木　俊子
一人居の日常なれば庭に来る小鳥一羽も友とし眺む　中島　三次
旧友と出会いた時の喜びに昔思いの語りは尽きず　岡部　一
娘の霊迎えんとして焚く薫火ほのと灯りて宵闇に消ゆ　坂本　伊紀
昇り立つ霧の淡さに乗り来るや亡き子の影が彷彿と立つ　柿沼　鯉乃
妻逝きて日の浅ければ慰むるすべなく仏壇の遺影と語りぬ　鷺野谷　満
心まで老けたくないとは思いども顔は皺増え腰の曲がりて　森　芳子
参拝の賛否の揺るるも靖国に祀らむと認めし斬り込み隊員　蛭田　浩市
夫呼ばむ提灯下げて香を焚く月日の流れをじっと偲びて　田中　志乃
友訪いば庭の辺に咲く銀盃草咲き残りたる花ちらほらと　板橋　源良
払暁に蝉が奏でる輪唱がまた覚めやらぬ寝床にきこゆ　松本　一郎
朝霧にしっぽり濡れし稲田にてトンボの孵るをしばし見惚れる　関根　富久
雨上がり蒸し暑き夜の蛍狩り光りを引きて我を待つがに　関根　ハナヨ
十年来農薬使わぬ我が百姓出来は悪いが満足の日々を　岡部　シゲ
網を掛けキャベツ若葉を守り居る蝶来るを止め無農薬目指す　藤田　千代子
あらかたの剪定終わり夕暮れの百合の香漂う庭に佇む　杉山　磯子
長雨に耐えて咲きいる名も知らぬ花を屈みてひととき愛でる　前田　喜三子
生れいでて自発呼吸の始まりぬ濡れし仔牛の鼻づらを拭く　関根　キヌ子
支え合い生き来し年輪長かりき長寿と言われるこの歳までも　北條　平
雨に合う紫陽花の花白と藍色鮮やかに咲き盛り居り　関根　一好

時の流れに身をまかせて Vol.5

緑のふるさと協力隊・伊藤真之さんの鮫川村体験記です。

こどもごころ

8月。夏です。鮫川の夏も暑い。でも、地元神奈川のむしむしとした暑さに比べると随分過ごしやすいと感じます。朝晩は日中よりもぐんと気温が下がるので、寝苦しい夜はほとんどありませんでした。もうすぐ秋。だんだんと寒くなっていく気候が、毎年寂しく感じる季節です。

僕は7月の下旬から8月の頭にかけて、こどもセンターで活動をさせてもらいました。最初はよく草刈りをしました。どこへ行っても、この時期は草との勝負だと思い、草刈り機の使い方も慣れてきました。こどもセンターでは主に夏休みでも通園する幼稚園児の"なつぐみ"のみんなと一緒に過ごしました。小さな子どもと直に接するのは初めてで最初は戸惑いもありました。でも、園児の方からしゃべりかけてきてくれたり、興味を持ってくれたりし、助けられたことも多くあります。気軽に声をかけてくる人懐っこい子が多かったように思います。それも田舎育ちということが関係してくるのかなとも感じました。一緒にプールに入ったり、絵本を読んだり、ご飯を食べたり・・・。ただそれだけのことが僕にとっては新鮮だったようにも思います。

小さな子どもは、大人には決してないものを持っていると感じました。あの無邪気で好奇心旺盛な心、底なしの元気やかわいい笑顔。小さい頃には誰もが当たり前のようにしていた行為が、だんだん大人へと成長するにつれ、忘れていってしまう。いつの間にか考えることを身につけると知識が先にきてしまうことが多くなる。僕もそんなひとりで、子どもたちに教わることも数多くあったと思います。その子どもたちにとったら、毎日が発見の連続で、僕は特に何もできなかったかもしれません。僕が幼稚園児の頃の記憶がほとんどないように、この一緒に過ごした短い日々もいずれ忘れさられてしまうのかなと思うと、なんとなく寂しい気持ちにもなります。でも、僕にとっては鮫川の子どもたちと過ごした日々は生き続ける記憶になると思います。



（文／伊藤真之）

情報の泉 わくわく WAKU-WAKU

案内・募集

●那須甲子有料道路無料化のお知らせ　栃木県那須町と西郷村を結ぶ那須甲子有料道路は、9月1日から無料化となります。今後は、福島県が管理を引き継ぎ、県道那須甲子線として管理します。なお、未使用の那須甲子有料道路の回数券がある場合は、福島県道路公社企画室までお問い合わせください。／問い合わせ…福島県道路公社企画室☎024-521-5530、県南建設事務所☎0248-23-1630

●9月11日は警察安全相談の日　犯罪などによる被害の未然防止を図るため、生活の安全に関する相談窓口を開設しています。電話、面接によるご相談を受け付けていますので、お気軽にご利用下さい。／相談内容…振り込め詐欺、児童虐待、高齢者虐待、自殺、いじめ問題（少年問題）など／相談電話番号…☎＃9110（携帯電話またはプッシュ回線）、☎024-533-9110（ダイヤル回線）／問い合わせ…棚倉警察署☎33-3241

●平成21年度海上保安大学校学生募集　人事院および海上保安庁では、平成21年4月に海上保安大学校に入学する学生を次のとおり募集します。なお、インターネットからも申し込みを受け付けます。受験資格…昭和63年4月2日以降に生まれた者／採用予定人数…約45人／申し込み受付…



何もないところだなと感じます。

芳賀（はが）　隆宏（たかひろ）さん(21歳)
［赤坂東野字唐露在住］
誕生月　昭和62年６月
血液型　ＡＢ型
星　座　ふたご座
趣　味　ドライブ

■仕事はどんなことをしていますか？

中井住宅木版㈱で木材加工の仕事をしています。

■仕事で心がけていることはありますか？

悪い材料がお客さんにいかないように、心がけて加工をしています。

■休日はどんな風に過ごしていますか？

友だちと出かけたりしています。

■これからチャレンジしてみたいことはなんですか？

車を去年購入したばかりなので、改造していきたいです。

■村に住んでいて感じることや、現在の村についてどう思いますか？

何もないところだなと感じます。

■村に必要なもの、要望などはありますか？

携帯電話が使えるようにして欲しいですね。それとコンビニもあればいいですね。

■

次は、本郷恵理さん（西山字沼野沢在住）の予定です。

学校だより

（第47回）

鮫川小学校 編

塙　　馨 校長
児童180人

自然大好き（ビオトープ）学習



「ほら、ここに生き物がいるよ。」子どもたちの瞳が輝き、元気な声がこだましてきます。

本校の環境学習の一つである「ビオトープ」での体験は、地域の特徴を生かした意義あるものです。

春にはビオトープの周辺整理と除草作業を行います。この陰には、保護者の皆様方の絶大なるご支援があります。今年は齋須寛一さん、水野春雄さんを指導講師にお招きし、楽しく分かりやすい説明をいただきました。

低学年は、網をじょうずに使いながら生き物の観察をしました。自然のすばらしさを思い切り満喫しました。他に三年生から六年生も楽しく活動しています。

この活動を通して、地域の方々との関わり方を身につけられるよう頑張っています。

（文・写真　鮫川小学校）



TOPICS

鮫川の水環境を学ぶ

鮫川にカジカを呼び戻す会が生息調査

鮫川にカジカを呼び戻す会（斎須寛一代表）は８月３日、役場前の河川（鮫川）で生息調査を行いました。

鮫川に生息する水生昆虫や魚類の調査を行うとともに、水質調査を行い、水環境がどんな状況かを学ぼうと、中野地区の小学生とその保護者や会員約20人が参加しました。

はじめに、舘山公園で森が果たす働きについて理解を深めた後、水生昆虫の調査を行いました。川の両岸や流れがゆるやかな場所などを押し棒で網に追い込み、すくい上げて調べました。網の中には、シマドジョウやサワガニ、トンボのヤゴなどの水生昆虫を観察しました。

また、パックテストによる水質調査も行われ、豊かな河川であることを確認しました。最後にカジカの成魚３㌔を故郷の川に棲みつくことを願って放流しました。





上…水生昆虫を観察する子どもたち／下…カジカの放流

自然に触れる機会を

大清水集落協定が自然観察会を開催

蕨平地区と鍬木田地区の９軒の農家で構成する中山間地域等直接支払制度の大清水集落協定（栗原順一代表）は８月３日、鍬木田地内の休耕田などで自然観察会を行いました。

今回の自然観察会は、ホタルの生態や水辺などに住む生き物の観察を通して、自然の大切さを学ぼうと行われました。講師に水野春雄さん（赤坂中野字宿ノ入在住）を迎え、富田地区の小学生や協定参加者など約30人が参加しました。

子どもたちは、指導を受けながら休耕田を調べ、ホタルのえさとなるカワニナやサワガニ、ホトケドジョウなどを次々と見つけました。また、場所を移して今はあまり見られなくなったトンボの生息の確認をしたり、どんぐりを使った笛の吹き方を教えてもらうなど、鍬木田地区の自然に直に触れ、楽しいひとときを過ごしていました。





上…笹舟の作り方を教えてもらう子どもたち／下…休耕田の水路を調べる参加者

Information

くらしの情報 インフォメーション

役場の電話番号

0247-49-3111(代表)

【直通電話番号】

総務課	49-3111
	FAX 49-2651
住民福祉課	
[国保健康係]	49-3112
[住民福祉係]	49-3113
	FAX 49-2651
農林課	49-3114
	FAX 49-2112
企画調整課	49-3115
	FAX 49-3363
地域整備課 [建設係]	49-3116
[環境係]	49-3196
	FAX 49-3363
農業委員会	49-3197
	FAX 49-2112
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
	FAX 49-3152
図書館(FAX兼)	29-1150
公民館	49-2247
農業者トレーニングセンター(FAX兼)	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター(鮫川保育園・鮫川幼稚園)	29-1010
	FAX 29-1012
保健センター(地域包括支援センター)	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ(FAX兼)	48-2555
手・まめ・館	49-2556
	FAX 49-2445
山王の里	48-2848
	FAX 29-2033

今月の納期
9月30日(火)
固定資産税 第3期
国民健康保険税 第4期
介護保険料 第4期

◆お知らせ1

保健

女性検診のお知らせ

検診名 子宮がん検診・骨粗しょう症検診
検診日 10月3日(金)
受付時間 午前の部…午前8時30分～9時30分／午後の部…午後1時～1時30分
場所 村保健センター
対象地区 午前の部…東石、富田、渡瀬、青生野／午後の部…西野、西山、中野
検診内容 子宮がん検診…頸部の細胞診／骨粗しょう症…超音波検査
対象 ▼子宮がん検診…20歳以上の方／骨粗しょう症検診…30歳以上の方▼4月の住民健診希望調べで希望されなかった方で、子宮がんおよび骨粗しょう症検診を希望される方は、受診録の準備などがありますので、村住民福祉課へ9月30日(火)までにご連絡ください。
受診料 子宮がん検診…500円／骨粗しょう症検診…500円 ※子宮がん検診、骨粗しょう症検診ともに75歳の方は無料。
■問い合わせ 村住民福祉課国保健康係☎49-3112

建築

建築物工事届について

建築物を新築、増築、改築、移転、取り壊しをする場合には、事前に届け出が必要です。工事届は、建築基準法で定められていますので、必ず提出してください。
※建築物…屋根があり、屋根を支える柱か壁がある建物です。畜舎、堆肥舎、車庫なども建築物です。
届出が必要な建築物 10平方メートル以上の建築物
提出先 役場地域整備課
その他 すでに新築、増築、改築、移転、取り壊しをした方で、届け出をしていない方は、至急提出してください。
■問い合わせ 村地域整備課建設係☎49-3116

年金

国民年金は「今」と「未来」を支えます

現役時代から老後までの長期間には、予測できないことがいろいろあります。国民年金などの公的年金は、誰にとってもやがて訪れる老後の生活不安を解消する第一の方法です。老後の自分がどのくらい生きるかは、あらかじめわかりませんし、長い老後生活の保障を子どもや貯蓄に頼るといっても、将来の社会経済がどうなっているのか、どのくらい備えが必要かは、誰にもわかりません。
このような老後を社会全体で支える仕組みが国民年金などの公的年金制度です。しかも、国民年金は老後だけではなく、病気やけがで障害が残り働けなくなったときの遺族（子どもがいる場合）保障もあります。
高齢者世代にとってはもちろんのこと、若い世代にとっても自分の親の私的な扶養や自分自身の老後の心配を取り除く役割を果たしています。年金制度の恩恵を受けるには、まず国民年金に加入し、保険料を納付することから始まります。
平成19年度の国民年金事業状況が公表されました。鮫川村における基礎年金などの年金額は次のとおりです。
年間受給額 8億2，245万円

社会保険庁からのお知らせ

ねんきん特別便は、すべての年金受給者・現役加入者の方へお届けしています。年金記録にもれやまちがいがないか十分に確認して、必ず回答をお願いします。
■問い合わせ ねんきん特別便専用ダイヤル☎0570-058-555、村健康福祉課国保健康係☎49-3112

◆お知らせ２

農業に係る軽油取引税の課税免除について

農業に係る軽油取引税の課税免除については、地方税法の規定に基づき、農業を営む方が該当していましたが、平成20年度の税制改正により農作業のうち基幹的な作業のすべての委託を受けて農作業を行う方にも、その対象が拡充されました。

■**問い合わせ**　県南地方振興局県税部☎0248-23-1519

司法書士無料法律相談

土地や建物、会社の登記のほか、遺産相続や少額の貸金・借金を巡るトラブルなどの法律相談をお受けします。また、土地家屋調査士による土地の境界や測量・分筆、建物の新築・増築などの登記の相談、公証人による遺言などの相談も併せて行います。なお、相談は個別に行い、秘密は厳守されます。

日時　10月５日(日)午前10時～午後３時(時間予約もできます)

会場　白河市高山コミュニティーセンター(新白河２丁目グラウンド内)

■**問い合わせ**　福島県司法書士会白河支部(原田事務所)☎0248-22-3256

うつくしま景観サポーター募集

県では、県民の皆さんに地域の景観づくりに積極的に取り組んでいただくために、「うつくしま景観サポーター」を募集しています。

対象　県内に在住で景観に関心のある満20歳以上の方

応募方法　所定の申込書(ホームページ[http://www.pref.fukushima.jp/keikan/utukushimanokeikan.htm]からダウンロードできます)に必要事項を記入し、県庁環境評価景観室まで郵便、ファックスまたは電子メールにより提出してください。

応募期限　９月12日(金)当日消印有効

■**問い合わせ**　県庁環境評価景観室☎024-521-7250、FAX024-521-7928　メールhyouka@pref.fuksushima.jp

９月９日は救急の日
救急車の適正利用で、救える命を守ろう

近年、救急車の出動件数が急増し、要請した人の約半数は入院を必要としない軽症者です。「なんとなく、身体の具合が悪い」「風をひいた」などの場合は、救急車を呼ぶ必要があるかどうか考えてください。タクシー代わりに救急車を要請することは控えてください。

救急車には、一分一秒を争う生命の危険にある傷病者への対応を優先させてください。

■**問い合わせ**　棚倉消防署鮫川分署☎49-2119

鮫川村街頭犯罪発生状況

棚倉警察署（☎33-3241）

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	0	0
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	0
事務所荒らし	0	0
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	0
無施錠	0	0
ガラス破り	0	0
鍵穴破壊	0	0
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	0	1
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	0	1

発生件数：７月26日～８月22日
累計：１月１日～８月22日

●いつもはみかけない車や人に気づいたときは、車のナンバーを控えて早期通報をお願いします。

◆いきいき健康通信

文／村住民福祉課国保健康係　村山通子保健師　☎49-3112

夏の疲れを回復させましょう

夏の疲れは悪循環の生活から

夏の気温が高い、さらに湿度も高いという状態は、気候自体が、からだにとってストレスとなります。からだは、暑さのストレスを回避しようと、涼しい冷房、冷風で過ごすことが多くなります。室内で過ごすことが多くなると運動不足となり、夜更しにつながります。また、体温調節がうまくいかないと風邪を引きやすくなります。毎日の三食が不規則だと栄養バランスも悪くなり、夏は悪循環の生活になりがちではなかったでしょうか。９月に入り、気候もしのぎやすくなりますので、夏の疲れを回復させましょう。

食生活で回復を

食欲がなかった方、三食が不規則だった方でも、気候が涼しくなると徐々に三度の食事が摂れるようになります。

夏は、暑さのために発汗が増し、水分を多めに取っていたと思いますが、その汗から、水溶性ビタミン(ビタミンB1、B2、Cなど)も一緒に体外に出るという特徴があります。ビタミンB1が不足すると、糖質がうまくエネルギーにならないため、食欲がなくなり、疲れやすい、だるいなど夏バテ症状になります。特にインスタント食品を多く食べている方では、脚気が報告されています。また、多忙な人や、激しいスポーツをする方ほどエネルギーを活発に作って、消費するため体内のビタミンB1は不足しやすくなります。

また、強い日差し(紫外線)を受けることによってビタミンCも消耗し、全体的にビタミンは不足しているので、夏の疲れを回復するためには、栄養バランスよく三食食べ、水溶性ビタミンを摂取するように心がけましょう。

特に、ビタミンB1が多い食品は、豚肉、レバー、豆類(豆製品)、胚芽米、玄米、麦などですので摂取をお勧めします。

睡眠と入浴で回復を

【エネルギーを取り戻す睡眠】

睡眠は、からだを休ませるとともに、脳の酸素や糖の消費量を減らし、老廃物を排泄する良いチャンスです。また、疲れが取れない時には、からだを横にするだけでも休養には有効です。

寝つきを良くするために

①寝る直前には食べない
②ぬる目の入浴をゆっくりと
③興奮したままで寝ない
④軽い運動で体を疲れさせる
⑤騒音、光を遮断する
⑥眠れないと心配しない

【入浴でリラックス】

疲れのタイプにより入浴方法は異なります。あなたはどのタイプでしょうか。食前食後の30分は入浴を避けましょう。

①やる気がでない(精神的疲労)という方には、「微温長時間浴」がお勧めです。副交感神経が優位になり、からだが休息に向かいます。

②頭は疲れ、体が疲れていないという方には、「高温(やや熱め)短期時間浴」がお勧めです。頭に上がった血液を全身に戻すつもりで、からだをゴシゴシ洗いましょう。

③肉体的な疲労があるという方には、やや熱めのお湯につかり、疲労物質の乳酸を追い出しましょう。

④活動前に力が出ないという方は、「高温(やや熱め)短時間浴」又は「シャワー」がお勧めです。新陳代謝を高め頭がスッキリします。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎29-1150



しにがみとあばあさん
(鎌田暢子著、大日本図書)
何もかもいやになったおばあさんが、「死んでしまいたい」とつぶやくと目の前に死神が…。なんとか追い払おうとしますが簡単にはできません。
ピンチのあばあさんはさてどうなるのでしょうか？



母に歌う子守唄　その後わたしの介護日誌
(落合恵子著、朝日新聞社)
在宅で母を看取ることとなった三年余りの介護の日々が綴られている。著者の母への愛に満ちた介護の記録。
介護中の疲れた人を励ましてくれる。介護後遺症に陥った人をきっと癒してくれる１冊。

火	水	木	金	土
2 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**3** ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**4** ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●やまゆり保育室[こ]	**5**	**6**
9 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面) ●ポリオ生ワクチン投与…13:30～[保] ●やまゆり乳児室[こ]	**10** ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**11** ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**12**	**13**
16 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面) ●図書館休館日 ●トレセン休館日	**17** ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●社会復帰支援事業(やまぶきの会)…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**18** ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**19** ●心配ごと相談…13:00～[公]	**20**
23 *秋分の日* ㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町)☎33-9468 ●図書館休館日	**24** ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●おはなしの森…16:00～16:30[図] ●トレセン休館日	**25** ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**26**	**27** ●親子運動会[こ]
30 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面) ●10か月児健診・お母さんの口腔健康相談…10:00～[保] ●村税など納期日	**10/1** ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**2** ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**3** ●女性健診(子宮がん検診・骨粗しょう症検診)…8:30～、13:30～[保]	**4**
7 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**8** ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**9** ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●幼稚園の秋の遠足	**10** ●献血 ●やまゆり保育室・乳児室[こ]	**11**

[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[図]＝図書館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

●お誕生おめでとうございます

（7月届け出分・敬称略）



北條（ほうじょう）　佐弥（さや）・女
平20.7.8生
住所…岫長
保護者…浩二・ひとみ



大池（おおいけ）　莉空（りく）・男
平20.7.12生
住所…新宿
保護者…義人・かおり

●おくやみ申し上げます

（7月届け出分・敬称略）

住所	氏名	月日	年齢
鍬木田	渡邊作太郎	6.30	83歳
官代	田子　國吉	7.3	87歳
岩野草	須藤　アキ	7.6	76歳
後折戸	阿久津カネ	7.11	81歳
福原	蛭田　啓喜	7.16	56歳
名下	須藤　一雄	7.21	83歳

●人の動き

8/1現在・（　）は前月比

人口	4,277人	（－6）
男	2,111人	（－5）
女	2,166人	（－1）
世帯	1,138戸	（±0）

●寄付・寄贈

（7・8月受理分・敬称略）

■社会福祉事業のために[金員]…渡邊昭美(鍬木田)田子一吉(官代)須藤啓太郎(岩野草)阿久津好治(後折戸)蛭田啓志（福原）うつくしま歌謡連合友の会・増谷猛(歌と踊りの芸能発表in鮫川大会開催に伴う益金)

■舘山公園苗木代として…鮫中三五会(須藤春男代表)



大樂村長に寄付を手渡す鮫中三五会の皆さん

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■先月、毎年恒例の鮫川花火大会が行われ、多くの人で賑わいました。今年もカメラを構えて、悪戦苦闘しながらの撮影で、よく撮れたものは数枚でした。■お盆を過ぎたあたりから急に寒くなりはじめました。すっかり秋を感じます。

（須藤）

9 生活情報カレンダー 月1日～10月11日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
	9/1 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●村税など納期限
7 ㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263	8 ●4か月児健診・BCG接種・ ●お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
14 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 ●村敬老会…10:00～[トレセン]	15 敬老の日 ●あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
21 ㊡金沢医院（矢祭町）☎46-2312	22 ●農業委員会総会 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
28 ㊡木村医院（矢祭町）☎46-3528 ●村消防団秋季検閲	29 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
5 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012	6 ●図書館休館日 ●トレセン休館日

㊡＝休日当番医

topics
話題

楽しかった夏の思い出

夏休み期間中に村内各地でさまざまなイベントを開催



一夜限りの演奏に酔う

Ｎ響山口氏らが「夏の夜のコンサート」開催

ＮＨＫ交響楽団第一コンサートマスター・山口裕之氏、東京芸術大学准教授・川崎和憲氏らによる「夏の夜のコンサート2008」は８月21日、村公民館で開かれました。

コンサートは毎年、「ほっとはうす・さめがわ」で合宿を行っている両氏と門下生らが開いているもので、今年で11回目。ベートーヴェンやシューベルトなどの曲や鮫川村民の歌を編曲した演奏が披露され、訪れた人たちは一流の響きに酔いしれていました。



ライブやＹＯＳＡＫＯＩ踊りで賑わう

第８回小童まつり

地元有志でつくる小童会（宗田貴会長）主催の第８回小童まつりは、８月９日、赤坂中野字道少田地内で行われました。

まつりでは、元フォークソンググループ阿呆鳥の菊池章夫さんと金子透さんなどのライブやＹＯＳＡＫＯＩ踊りなど多彩な催しが繰り広げられました。会場には多くの露店が並び、訪れた人たちは楽しい夜のひとときを過ごしていました。



つかみどりに夢中

遠ヶ竜で「魚つかみどり大会」

遠ヶ竜中山間集落協定（森元良代表）主催の「魚つかみどり大会」は８月15日、遠ヶ竜ふれあい公園内で開かれました。

大会では、公園内の池にニジマス100㌔を放流。参加者は、歓声を上げながら、大きな獲物をつかもうと池の中を駆け回っていました。



夜空に輝く大輪の花火

第30回鮫川花火大会

村商工会青年部主催の第30回鮫川花火大会は８月15日、国道349号新宿トンネル付近で行われ、約1000発の花火が打ち上げられました。

観覧場所には、焼きそばやクレープなど多くの露店も並び、家族連れや帰省客などで賑わいました。



かげえ遊びを楽しむ

福島大学「かげえ公演」

福島大学児童文化研究会影絵部による夏季巡回公演「かげえ公演」は８月13日、農業者トレーニングセンターで開かれました。

公演では、学生による手かげえや影絵劇「わらしべちょうじゃ」などが行われ、参加した子どもたちは、自分の手を使ってできる遊びに夢中になっていました。

広報 さめがわ　No.653［平成20年９月１日発行］
■発行・編集／福島県鮫川村役場企画調整課　〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５　■TEL 0247-49-3115
■FAX 0247-49-3363　■ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/　■Eメール kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp